

鴨川市文化財保存活用地域計画（案）に係るパブリックコメント実施結果

鴨川市文化財保存活用地域計画（案）を公表し、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見を頂きました。

寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

【パブリックコメント手続実施結果】

1 案件名

鴨川市文化財保存活用地域計画（案）

2 募集期間

令和 7 年 6 月 30 日（月）～令和 7 年 7 月 29 日（火）

3 募集方法

市ホームページ、生涯学習課、郷土資料館、市政情報コーナーにおいて「鴨川市文化財保存活用地域計画（案）」を公表し、意見を募集しました。

4 意見の提出件数 1 件（意見提出者 1 人）

5 意見の概要と市の考え方

（1）第 6 章 文化財の保存・活用に関する基本方針及び取組 1 件（1 人）

意見の概要	市の考え方
<p>P65 において、【基本方針 3 活かす】の中で「課題 観光に活用されていない。」とあるが、実情として鴨川市は財政面の問題により公共交通機関の運用エリアを縮小している。これは観光に活用されない環境に拍車をかけていると考える。</p> <p>このことから、どれだけ周知しても、イベントを開催しても他県、他市からの交通手段が限られ、結果に繋がらないと考える。</p> <p>まず、文化財を観光資源として活用するのであれば、公共交通機関をしっかりと構築し、各地区へのアクセス手段を確保することが一番大切だと考える。よって、ベースとなる公共交通機関が正常に機能していない以上、基本方針 3 に記載されている内容は効果的ではない。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>関係機関との連携により、文化財へのスムーズなアクセス環境を整え、観光資源として活用できるように努めます。</p>

(2) 参考意見

所定の要件を満たさなかったものについて、参考意見として掲載します。

意見の概要

1 私は移住して18年になりますがまだ鴨川の全体像はわからず、この「計画書」はよくまとまっていて学ぶことがたくさんありました。個々の部分に意見はありません。

2 少子高齢化と人口減少がすすむなかでの調査や保存、活用における危機感が足りないように感じました。私の見落としかもしれませんが、特に維持や管理に具体的な対策が必要です。すべては人材だと思いますので、次にささやかな提案をいたします。

3 第6章について私の提案。

具体的な提案で、計画書に盛り込む内容ではありません。

a) 市民への「知る」「活かす」を兼ねた活動として、鴨川市民文化遺産の写真や絵画のコンクールを提案します。すこし難しいですが俳句もよいでしょう。

小、中、高、一般人に応募を募ります。テーマを主催者側で設定するのが大切です。例えば、「鴨川の風景」「伊八の彫り物」とか題材を示したほうが、応募しやすいと思います。また自ら調べる必要性も残しておくことが大切です。

入選者には誇りを感じさせることが必要です。市長賞や記念品も工夫がいきます。毎年だと主催者も大変で、市民にも飽きられますので、3、4年に一度ぐらいでしょうか。

b) 郷土教育について

「わたしたちの鴨川市」は子供たちに鴨川市の概要を理解させるにはよくできています。ただ「郷土愛」を育むには自然、文化、歴史を中心とした教科書が必要です。私は高齢ですので、小中生にどのように伝えるかわかりません。すべてを与えるのではなく謎を残し、興味を抱いた子供が自ら調べよう誘導することが大切だと思います。

郷土の自由研究も発表や表彰の対象になるでしょうし、長年の積み重ねはa、b、とも市民遺産ではないでしょうか。移住者の私が無知で高校の地歴部などの成果があるのかも知れません。

c) 郷土の自然、文化、歴史に関する宿題

小、中の学年のどこかで郷土をテーマにした夏休みの課題ができないでしょうか。テーマは準備が必要ですが、生徒は毎年かわりますので、テーマが枯渇することはありません。複数のテーマから自ら選択することが大切です。謎解き部分を含めるとよいでしょう。すこし強制的に感じられますが、子供時代の経験は大人になってもよい思い出として残るものです。

以上、移住者の勝手な提案です。